



平成22年4月7日

各 位

上場会社名：住江織物株式会社
代表者：取締役社長 吉川 一三
(コード番号：3501 東証・大証 各一部)
問合せ先責任者：取締役経営統括室長
飯田 均
(TEL 06-6251-6803)

共同新設分割による会計処理に関するお知らせ

当社と帝人ファイバー株式会社は、平成21年3月30日に開示の「自動車向けシート及び天井材に関わる事業の共同新設分割（会社分割）による新設会社への承継に関する統合契約書の締結について」および平成21年5月22日に開示の「自動車向けシート及び天井材に関わる事業の共同新設分割（会社分割）による新設会社への承継に関する分割承認方法の変更について」でお知らせいたしましたとおり、平成21年12月1日に共同新設分割によってスミノエ テイジン テクノ株式会社を設立し、当社の自動車内装シート部門の事業と、帝人ファイバー株式会社の自動車内装シート事業関連の加工技術部門・営業部門の事業並びに、帝人テクロス株式会社の発行済株式全部およびその完全子会社である尾張整染株式会社の発行済株式全部に関する権利義務を同社に承継させて事業統合いたしました。これに伴い発生した会計処理について下記にお知らせいたします。

記

1. 発生する負ののれんの金額、発生原因、償却の方法および期間

(1)負ののれんの金額

443百万円（連結）

(2)発生原因

帝人テクロス株式会社および尾張整染株式会社の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれんとして認識しました。

(3)償却の方法および期間

5年間にわたり均等償却いたします。

2. 発生する持分変動益の金額、発生原因

(1)持分変動益の金額

377百万円（連結）

(2)発生原因

スミノエ テイジン テクノ株式会社が承継しました純資産の時価と簿価の差額を持分比率に応じて認識した結果、持分変動益が発生しました。

3. 業績予想に与える影響

上記の処理が当期連結業績に与える影響額について、負ののれんの償却額 44 百万円(平成 23 年 5 月期から平成 26 年 5 月期までは 88 百万円、平成 27 年 5 月期は 44 百万円)を営業外収益として計上し、持分変動益 377 百万円を特別利益として全額計上いたします。

詳細は、本日開示の業績予想の修正に関するお知らせをご覧ください。

以上